

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県療育センター
条例上の設置目的	心身障害者の福祉の増進を図る
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	心身の発達の遅れや、その心配のある児童の障害を早期に発見し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。また、障害者の自立や社会参加を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労を希望する障害者に対し、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ること。 ・障害者の機能訓練、社会適応能力の向上並びに健康の維持及び増進に関する事業を行うこと。また、創作的活動やスポーツ・レクリエーション等により、障害者の社会参加を促進すること。くわえて、障害者福祉に関するボランティアを養成すること。 ・心身障害に関する相談並びに心身障害児又は心身に障害があると思われる児童に対する診断、検査、治療及び指導を行うこと。 ・心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。 ・障害者または障害児の心身の状況やサービスの利用に関する意向等を勘案し、サービス等利用計画を作成すること。また、モニタリングを実施し、サービス等利用計画が適切であるかどうかを検証し、適宜サービス等利用計画の見直しを行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込んでいます。
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 定員の充足率9割以上（定員設定のある事業や講座に限る。） ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	<p>次の理由により、公募の方法によらず千葉県社会福祉事業団を指定管理者とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
施設利用者数	定員の充足率90%以上（定員設定のある事業や講座に限る。）	75.4%	83.8%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%	84.4%	93.8%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H30年度実績
施設利用者数	延べ90,985人

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H30年度	H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
指定管理料	実績	639,165	620,790	実績－計画	△ 29,022	医師の欠員、育休1人
	計画	668,187	650,237	計画－提案	△ 94,975	市の査定
	提案	763,162	754,605			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	37,346	24,840	実績－計画	37,346	本部経費按分他による
	計画	0	0	計画－提案	0	—
	提案	0	0			
合計	実績	676,511	645,630	実績－計画	8,324	
	計画	668,187	650,237	計画－提案	△ 94,975	
	提案	763,162	754,605			

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	467,719	458,031	実績－計画	△ 25,453	医師欠員、育休1人
	計画	493,172	481,610	計画－提案	△ 83,031	市の査定
	提案	576,203	568,030			
事務費	実績	32,661	31,298	実績－計画	△ 1,764	保守料契約差額他
	計画	34,425	37,214	計画－提案	△ 10,457	市の査定
	提案	44,882	44,111			
事業費	実績	50,244	48,750	実績－計画	△ 1,557	給食提供差額他
	計画	51,801	54,257	計画－提案	△ 7,453	市の査定
	提案	59,254	58,592			
委託費	実績	66,533	62,423	実績－計画	275	一般廃棄物の増加による処理料増等
	計画	66,258	63,119	計画－提案	7,386	運転委託料等の増加
	提案	58,872	58,872			

その他	実績	21,107	11,485	実績－計画	1,157	エアコン故障による緊急更新 市の査定
	計画	19,950	11,537	計画－提案	△ 1,660	
	提案	21,610	22,659			
本社費・共通費	実績	47,977	33,719	実績－計画	45,396	本部経費按分率変更 －
	計画	2,581	2,500	計画－提案	240	
	提案	2,341	2,341			
合計	実績	686,242	645,705	実績－計画	18,055	
	計画	668,187	650,237	計画－提案	△ 94,975	
	提案	763,162	754,605			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉事業団の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	H29年度
必須業務	収入合計	676,511	645,630
	支出合計	686,242	645,705
	収 支	△ 9,731	△ 75
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収 支	0	0
総収入		676,511	645,630
総支出		686,242	645,705
収 支		△ 9,731	△ 75
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
定員の充足率9割以上	D	
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費削減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	・千葉県療育センター設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症防止マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・毎月避難訓練を実施した。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	B	・ふれあいの家の利便性向上のため工事を行った際、利用者の施設利用環境の確保や周辺住民への周知に努めた。 ・日常点検・定期点検を適正に実施した。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	・各事業毎にアンケートを実施した。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	・自主事業として継続して園児兄弟・姉妹預かり事業及び土日余暇支援事業を実施した。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	・積極的に市内業者を利用した。 ・障害者雇用の確保に努めた。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
特になし	平成29年度	

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を利用者及び保護者に配布し、利用児に回収。
	回答者数	1,683人
	質問項目	職員対応について。保育(療育)内容について。個別指導について。グループ指導について。講座等実施事業について。等
結果		<p>ア 療育相談所：集団選択についてのお話会 配布数25、回収数22</p> <p>(1) 内容について：大変満足10人(45%)、満足9人(41%)、普通3人(14%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 集団選択を考える上で：大変満足10人(45%)、満足9人(41%)、普通3人(14%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>イ すぎのこルーム(医療型C・前期) 配布数21、回収数20</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足6人(30%)、満足11人(55%)、普通3人(15%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足5人(25%)、満足13人(65%)、普通2人(10%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>すぎのこルーム(児発・前期) 配布数99、回収数84</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足51人(60%)、満足33人(39%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足24人(29%)、満足51人(61%)、普通7人(8%)、やや不満2人(2%)、不満0人(0%)</p> <p>すぎのこルーム(児発一発達・前期) 配布数16、回収数14</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足10人(71%)、満足4人(29%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足5人(36%)、満足9人(64%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>すぎのこルーム(医療型C・後期) 配布数18、回収数17</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足5人(29%)、満足11人(65%)、普通0人(0%)、やや不満1人(6%)、不満0人(0%)</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足4人(24%)、満足13人(76%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>すぎのこルーム(児発・後期) 配布数111、回収数111</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足56人(51%)、満足54人(49%)、普通・やや不満・不満0人(0%)、無回答1人</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足30人(27%)、満足68人(61%)、普通13人(12%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>すぎのこルーム(児発一発達・後期) 配布数17、回収数14</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足7人(50%)、満足7人(50%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 保育内容について：大変満足9人(53%)、満足8人(47%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>ウ やまびこルーム(前期) 配布数68、回収数57</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足32人(56%)、満足24人(42%)、普通0人(0%)、やや不満1人(2%)、不満0人(0%)</p> <p>(2) 個別指導について：大変満足27人(47%)、満足29人(51%)、普通1人(2%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(3) 個別支援計画について：大変満足25人(45%)、満足31人(55%)、普通・やや不満・不満0人(0%)、無回答1人</p> <p>やまびこルーム(後期) 配布数72、回収数60</p> <p>(1) 職員対応について：大変満足40人(67%)、満足19人(31%)、普通1(2%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 個別指導について：大変満足29人(48%)、満足31人(52%)、普通・やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(3) 個別支援計画について：大変満足31人(53%)、満足27人(46%)、普通1人(1%)、やや不満・不満0人(0%)、無回答1人</p> <p>エ いずみの家</p> <p>(1) 利用者 配布数31、回収数31 施設全体の総合評価：大変満足18人(58%)、満足10人(32%)、普通3人(10%)、やや不満・不満0人(0%)</p> <p>(2) 家族 配布数31、回収数27 施設全体の総合評価：大変満足12人(44%)、満足13人(48%)、普通2人(7%)、やや不満・不満0人(0%)</p>

- オ ふれあいの家 配布数502、回答件数449
- (1) 職員の印象について:大変満足327人(75%)、満足80人(18%)、普通27人(6%)、やや不満2人(1%)、不満2人(1%)、無回答11人
- (2) 全体的な満足度:大変満足288人(67%)、満足124人(28%)、普通22人(5%)、やや不満1人(0%)、不満0人(0%)、無回答14人

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
ヒポポの会「集団選択についてのお話会」において、より具体的なアドバイスを求められたり、内容に物足りなさを感じるご意見があった。(療育相談所)	より適切な回答が出来るよう、知識や情報収集に努めていきます。
絵本の読み聞かせを取り込んで欲しい。(すぎのこルーム)	月に1～2回「絵本」「紙芝居」として保育内容に組み込んでいます。保育予定表をご覧いただき、ご都合の付く日にご参加ください。
妹(2歳児)を預けられず連れて行った日におもちゃなど貸し出して欲しい。(やまびこルーム)	個別指導に支障のない範囲でお貸しいたします。
掃除機を新しくして欲しい。(いずみの家)	購入可能なものは適宜対応して参ります。(R1年8月購入予定)
駐車場の点字ブロックが一部剥がれている。(ふれあいの家)	早急に修繕対応します。(R1年5月対応済み)

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

C	<ul style="list-style-type: none"> ・療育相談所では、相談員3人体制が確立し、相談員同士が連携し、利用者様をお待たせせず、個別のニーズに迅速、丁寧に対応することもでき、担当相談員が不在の際も、他の相談員で可能な限り対応する体制が確立できました。その結果、新患(初診)受理面接は741件と昨年実績693件を大きく上回ることができ、電話受付から初診までの待機期間が2か月程度を維持することができました。 ・医療型児童発達支援センターでは、日々の利用率向上に向けて、療育と保護者支援の充実に努めました。そのため個別保育を7月から開始し、今年度の契約人数25人中20人が個別保育を行い、1人平均3回実施しました。 ・やまびこルームでは、千葉県こども病院を中心とした関係機関との連携も深めた結果、契約者数の増加に繋がりました。平成30年度は、前年度に比べ契約人数を11人、延べ利用者数を225人上回ることが出来ました。 ・相談支援事業所ぱれっとでは、利用者家族のニーズであるサービス提供事業所での様子を把握するために、サービス提供時モニタリングによる事業所訪問を実施し連携を密にするなど、利用者のニーズに応えるきめ細かい相談を実施することに努めました。また、相談支援事業全国連絡協議会や市内の相談支援事業所の意見交換会に参加し、相談事業所間での情報交換や研修を行いました。 ・いずみの家では、就労支援事業について、作業量が一定水準以上確保できたことに加え、ご利用者の熟練や作業効率化のための創意工夫等を要因とする増収に、作業ボランティアの積極的な受け入れ等、必要経費の見直しによる支出削減の結果、収益率は、前年度52.6%から58.4%に増加し、あわせて就労移行B型のご利用者が、就職により一時的に減ったため、月額工賃額(22,420円)は、全国平均(15,603円)を大きく上回りました。
---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの家では、施設貸出について、年間の仮予約の受付や利用時間の拡大など柔軟に対応しました。分館移転に伴う施設拡充によって、体育室を除く施設利用は前年度と比較して年間3,233人増加しました。ビームライフルなど教室の終了後にサークル活動へ移行した団体も増加しました。また、新規利用者の獲得に向けて、大学・短期大学・介護専門学校への情報提供、地域新聞や折り込みチラシの活用、自治会や公共施設、ショッピングモールへのチラシ・ポスター配布など広報を強化しました。
--	--	--

(2) 市による評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき適切に管理運営を行っている。 ・療育相談所において、平成29年度からはじまった相談員3人体制が成熟し受路面接実績が昨年度を大きく上回った。(平成29年度693件→平成30年度741件)また、保健所や児童相談所との連携を密に行い、利用者支援の充実に努めた。 ・すぎのこルーム医療型児童発達支援センターにおいて、療育と保護者支援の充実に努め、7月から個別保育を開始した。 ・やまびこルームにおいて、関係機関との連携を深めたことで利用者数が増加した。(平成29年度2,667人→平成30年度2,892人) ・相談支援事業所ばれっとにおいて、サービス提供事業所訪問を実施し、事業所の様子を把握することで利用者ニーズへの対応ができるよう努めた。 ・ふれあいの家において、施設貸出の受付や利用時間の拡大など柔軟に対応したこと、移転により施設拡充を図ることができたこと、広報活動を積極的に行ったことによって、利用者数が昨年度を大きく上回った。(平成29年度53,971人→平成30年度59,733人)
------------------	----------	-----------	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・管理運営については、概ね適切に管理が行われている。
--